

○現状の整理

全国

【社会動向】

・近年、メディアなどにおいても、男性DV被害者に関するニュース（特に、男性被害者の存在や男性被害者用シェルター）がとりあげられている

・また、国（内閣府）からも、令和7年度に各都道府県等に対して、配暴センターにおける「多様な被害者への対応」（男性等）について、取組の促進を呼びかける通知が発出されたところである

【相談件数（男性）】

・内閣府（全国配暴センター）や警察庁の統計において、件数は増加傾向にある

・特に、警察庁統計（R6）において、件数全体の約30%を占める

・一方で、内閣府（全国配暴センター）統計では全体の2.6%と低く推移している

奈良県（中央・高田こども家庭相談センター、女性センター）

【支援体制】

・相談対応、一時保護、保護命令、自立支援等の支援が考えられる
→（現状）女性相談員による「相談対応」を実施している
※保護命令や自立支援については、ケースがあれば実施が可能
※女性センター男性相談窓口では、男性相談員による「相談対応」を実施している

【相談件数（男性）】

・ここ数年はおおよそ10件台で推移（件数全体の約1.5%～2%）
→全国や近畿他府県の相談件数・比率と比較すると低く推移している

【参考】

【男性の相談件数】（※R6）

機関	比率	近年の推移
①全国 （全国配暴センター相談件数等）	全体の2.6%【R5】	R5：2.6%（3,340/126,743件） R4：2.6%（3,211/122,211件） R3：2.6%（3,147/122,478件）
全国 （警察庁相談件数等）	全体の29.7%	R6：29.7%（28,214/94,937件） R5：27.9%（24,684/88,619件） R4：26.9%（22,714/84,496件）
②近畿他府県	全体の約5%～10%	—
③奈良県	全体の1.6%	R6：1.6%（12/767件） R5：1.9%（17/898件） R4：0.8%（6/714件）

【近畿他府県の取組状況】（※2府県を除く）

取組内容	実施府県数	奈良県の状況
①性別を問わず相談可能な窓口の設置	3／3府県	○
②男性相談員の配置	3／3府県	○
③男性用シェルターの確保 （※専用でない場合も含む）	2／3府県	—
④男性被害者の一時保護委託実施	3／3府県	—

○課題の把握

①周知・広報

→男性被害者に関するアンコンシャスバイアスにより、男性も被害者になり得ることや相談窓口についての認知度が低い等

②相談体制

→相談内容の性質や来庁時の対応等、女性の相談員・女性相談施設では男性の相談対応が難しい等

③研修内容

→男性被害者対応についての公的な研修が少ない等

④緊急時の避難先（シェルター・一時保護対応）

→男性向けシェルターを確保しておらず、一時保護も実施していない等

⑤県DV計画における具体的な記載が無い